

## 雄勝硯の再生と町の復興に向けて ～『おがつ店こ屋街』～

【 宮城県石巻市雄勝町地区 】

名 称 : おがつ店こ屋街  
所 在 地 : 宮城県石巻市雄勝町雄勝字伊勢畑84番1  
種 別 : 仮設店舗及び事務所  
延床面積 : 620㎡  
入 居 者 : 食品雑貨小売業、飲食業、新聞販売業等  
区 画 数 : 14区画  
建物構造 : 軽量鉄骨造2階建て  
事業開始 : 平成23年7月20日  
完 成 : 平成23年11月4日  
供用開始 : 平成23年11月4日

雄勝町は石巻市中心部から北東に約20kmに位置する。リニューアルした東京駅の外壁にも使用され、国内シェア90%を誇り伝統工芸品としても有名な雄勝硯の生産地である。

仮設施設の建設地は被災した雄勝総合支所の駐車場だが、震災後、ここでは毎月、復興市が開催され地元のコミュニケーションの場となっていたことから、復興への気運を高め、生活利便性を確保するため仮設商店街の話が持ち上がり中小機構に要望した。

仮設施設は平成23年7月に事業を開始し、石巻市における第1号の仮設施設として同年11月にオープンした。雄勝硯生産販売協同組合、食料品店、雑貨店、すし店、海産物店等が入居し、地域で唯一の商店街として地元住民の生活だけでなく、復興関係の工事業者、ボランティア、ツアー客の支援・交流の場として活用されている。

